

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	無期限（設定日：2018年9月20日）	
運用方針	中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して安定的な運用を行います。	
主投資対象	GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド受益証券およびGCIマネーブルマザーファンド受益証券
	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	日次の流動性をもち、かつ株式会社GCIアセット・マネジメントが運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券
	GCIマネーブルマザーファンド	わが国の短期公社債等
主な組入制限	GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。
	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	同一銘柄の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の利用は行いません。
	GCIマネーブルマザーファンド	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	年1回（6月15日、当該日が休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・収益分配金額は、上記の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。 （ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。）	

運用報告書（全体版）

GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）

第2期（決算日 2020年6月15日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）」は、このたび第2期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社GCIアセット・マネジメント

東京都千代田区西神田3-8-1
お問い合わせ先（投信ビジネス・グループ）
TEL：03-3556-5040（営業日の9:00~17:00）
URL：<https://www.gci.jp>

■設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		投資信託 証券組入比率	純資産 総額
		税金 分配	込金 騰落率		
(設定日) 2018年9月20日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 10
1期(2019年6月17日)	9,824	0	△1.8	29.9	78
2期(2020年6月15日)	9,661	0	△1.7	30.0	187

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。以下同じ。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

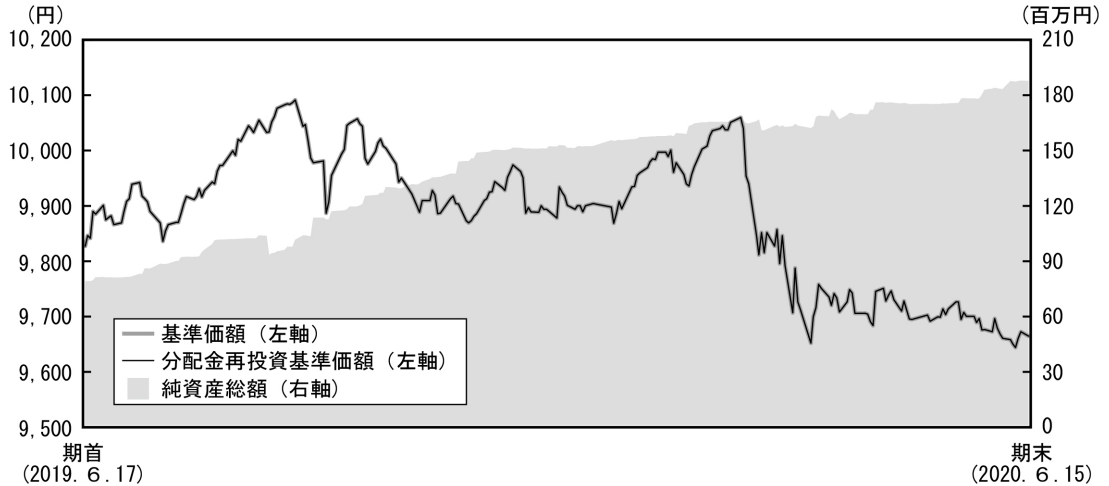
■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	価額		投資信託証券 組入比率
		騰落	率	
(期首) 2019年6月17日	円 9,824		% -	% 29.9
6月末	9,863		0.4	29.9
7月末	9,928		1.1	29.8
8月末	10,074		2.5	30.1
9月末	10,055		2.4	30.4
10月末	9,883		0.6	29.1
11月末	9,971		1.5	29.9
12月末	9,901		0.8	29.2
2020年1月末	9,975		1.5	29.9
2月末	9,937		1.2	29.3
3月末	9,717		△1.1	29.7
4月末	9,692		△1.3	29.8
5月末	9,673		△1.5	28.1
(期末) 2020年6月15日	9,661		△1.7	30.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

運用経過

■当期中の基準価額等の推移



期 首：9,824円
 期 末：9,661円（既払分配金（税引前）：0円）
 騰 落 率：△1.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は下落し、当期間のリターンは△1.7%となりました。

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドにて組入れを行った投資信託証券のうち、主に、期を通して組入上位でありました「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」が下落したことがマイナスに影響しました。

■投資環境

【国内債券】

当期の国内債券市場は下落（金利は上昇）しました。8月には米中貿易摩擦を受けたリスクオフにより10年国債利回りは低下し、 $\Delta 0.3\%$ 近辺まで低下しました。その後は日銀の政策、世界各国の堅調な経済指標等を背景に金利は上昇基調が続きました。2020年3月頃には、新型コロナウイルスの感染拡大で国内債券も金利低下となりましたが、期末にかけては再び金利が上昇し、10年国債利回りは0%近辺での推移となりました。

【国内株式】

当期の国内株式市場はやや上昇となりました。8月には米中貿易摩擦の激化等を背景として下落となりましたが、その後は米中通商協議の進展等を受けて、日経平均株価は24,000円台に達する場面もありました。2020年2月後半から3月半ばにかけては新型コロナウイルスの世界的感染拡大とこれに伴う世界経済の減速懸念により、国内株式は急激な下落となりましたが、その後期末にかけては、各国による経済対策、感染拡大鈍化と経済再開への期待等を受けて回復基調が続きました。

【外国債券】

当期の外国債券市場は上昇（金利は低下）しました。8月には米中貿易摩擦の激化と世界経済の減速懸念等で各国の金利は低下しました。2020年に入ると新型コロナウイルスの世界的な感染拡大等を受けて金利低下が急激に進み、米国10年債の利回りは一時過去最低の0.3%台を記録する場面も見られました。しかし期末にかけては経済再開への期待が広がったこと等を受けてやや金利水準を戻しました。

【外国株式】

当期の外国株式市場はやや上昇となりました。8月には米中貿易摩擦の激化等を背景として下落となりましたが、その後は米中通商協議の進展、FRBの緩和姿勢、英国の総選挙結果等を受けて、上昇基調が続き、米国株式市場では主要3指数が史上最高値を更新しました。2020年2月後半から3月半ばにかけては新型コロナウイルスの世界的感染拡大とこれに伴う世界経済の減速懸念により、株式は短期間で世界的に急落となりましたが、3月後半以降は各国による経済対策、感染拡大鈍化と経済再開への期待等を背景に上昇基調が続き、期初の水準を超えて期末を迎えました。

【為替相場】

当期の為替相場は、円は対米ドルでやや上昇しました。8月には米中貿易摩擦激化を受けて円高が進行する場面がみられましたが、その後は堅調な米経済指標、米中通商協議の進展等を背景にゆるやかに円安基調となりました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大を受けたリスク回避の動きで2020年3月には一時1ドル101円台となるなど急激に円高が進む場面もありましたが、その後各国による金融緩和や財政刺激策への期待から円安方向に反転しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドでは、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主に当社が運用に関与するオルタナティブ戦略（指定投資信託証券）に投資を行いました。また、GCIマネープールマザーファンドの組入れも行いました。

各マザーファンドへの投資については、当期を通じて当ファンド全体の組入比率を高位に保ちました。期末における各マザーファンドの組入比率は、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドが30.0%、GCIマネープールマザーファンドが69.7%となっています。

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドにおいては、定性評価、定量評価等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行い、当期間においては投資対象とする投資信託証券のうち、「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」の2ファンドに投資を行いました。

期末におけるマザーファンド内での、各投資信託証券の組入比率は、「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」が89.9%、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」が10.1%となっております。

GCIマネープールマザーファンドにおいては、短期金融商品の中で相対的にレートの良いCP現先取引を中心に運用を行ないました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配は行いませんでした。

なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目	第2期	
	2019年6月18日～2020年6月15日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

【GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）】

引き続き、運用の基本方針に従い、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、当社が運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券に投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。また、GCIマネープールマザーファンドの組入も行います。

【GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド】

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの運用については、投資信託証券への投資にあたり、別に定める投資信託証券の中から、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行う方針です。なお、市況、各種評価等を勘案し、新たな投資対象ファンドを追加する場合があります。

【GCIマネープールマザーファンド】

GCIマネープールマザーファンドの運用については、引き続きCP現先取引などを中心に投資を行い、信託財産の安定した収益の確保を目指して安定運用を行ないますが、市場環境によっては目標とする運用が出来ない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	2019年6月18日～2020年6月15日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	55円	0.548%	(a) 信託報酬の総額＝(1)基本報酬＋(2)成功報酬 基本報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 当期中の平均基準価額は9,889円です。 委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価 交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 ファンドの運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価
(1) 基本報酬	48	0.481	
(投信会社)	(43)	(0.438)	
(販売会社)	(1)	(0.011)	
(受託会社)	(3)	(0.033)	
(2) 成功報酬	7	0.067	
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	55	0.548	

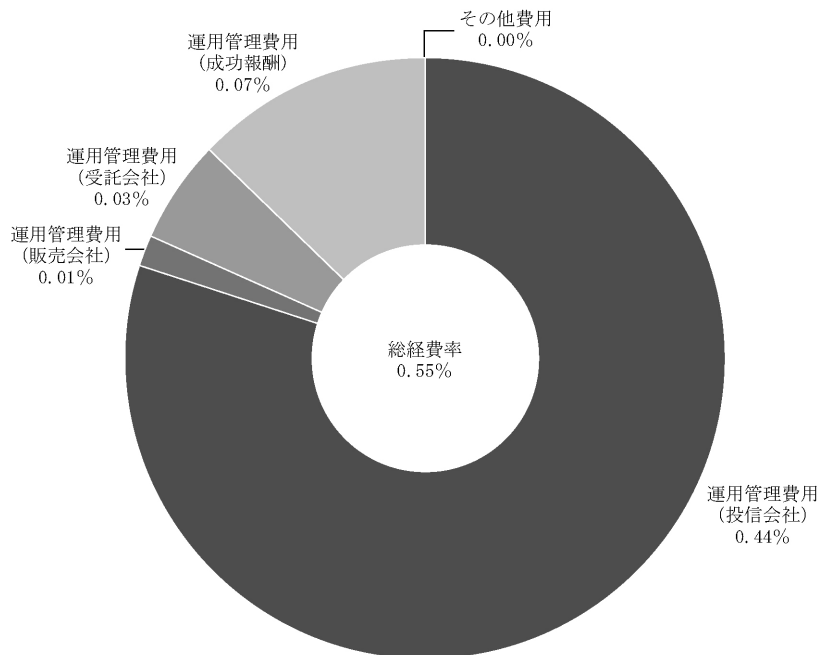
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

（参考情報）総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.55%です。



(注) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) マザーファンドの投資対象先ファンドが支払った費用の比率は、単位未満のため表示していません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■ 売買及び取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

ファンド名	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
GCIマネープールマザーファンド	90,439	90,350	14,214	14,200
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	43,659	42,600	7,153	7,100

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未满是切り捨てています。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年6月18日から2020年6月15日まで)

該当事項はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業または商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年6月18日から2020年6月15日まで)

該当事項はございません。

■ 組入資産の明細

親投資信託残高

(2020年6月15日現在)

ファンド名	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
GCIマネープールマザーファンド	130,557	130,388
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	61,289	56,104

(注) 口数・評価額の単位未满是切り捨てています。

(注) GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は、1,321,696千口です。

(注) GCIマネープールマザーファンドの期末の受益権総口数は、26,567,710千口です。

■ 投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
GCIマネープールマザーファンド	130,388	69.6
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	56,104	29.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	942	0.5
投 資 信 託 財 産 総 額	187,434	100.0

(注) 金額の単位未满是切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	187,434,129円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	941,320
G C I マ ネ ー プ ー ル マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	130,388,178
G C I オ ル タ ナ テ ィ ブ バ ス ケ ッ ト ・ マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	56,104,631
(B) 負 債	398,174
未 払 信 託 報 酬	398,172
未 払 利 息	2
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	187,035,955
元 本	193,595,461
次 期 繰 越 損 益 金	△6,559,506
(D) 受 益 権 総 口 数	193,595,461口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	9,661円

(注) 当ファンドの期首元本額は79,475,476円、期中追加設定元本額は142,859,668円、期中一部解約元本額は28,739,683円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9661円です。

■損益の状況

当期(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△534円
支 払 利 息	△534
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△3,116,835
売 買 損 益	400,186
売 買 損 益	△3,517,021
(C) 信 託 報 酬 等	△764,724
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△3,882,093
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△20,691
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△2,656,722
(配 当 等 相 当 額)	(△4,103)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,652,619)
(G) 計 (D+E+F)	△6,559,506
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△6,559,506
追 加 信 託 差 損 益 金	△2,656,722
(配 当 等 相 当 額)	(△7,189)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,649,533)
繰 越 損 益 金	△3,902,784

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H) 収益分配金の額の計算過程については、以下の表をご参照ください。

項目	当期
計算期間末における配当等収益から費用を控除した額	0円
有価証券売買等損益から費用を控除した額	0円
信託約款に規定される収益調整金	0円
信託約款に規定される分配準備積立金	0円
分配対象収益	0円
(1万口当たり)	0円
分配金額	0円
(1万口当たり)	0円

■分配金のお知らせ

	第	2	期
1 万口 当 たり 分 配 金 （ 税 引 前 ）			0円

※分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

■お知らせ

◇約款変更

該当事項はありません。

◇運用体制の変更

該当事項はありません。

<補足情報>

「GCIマネープールマザーファンド」の決算日（2019年9月25日）と、当ファンドの決算日（2020年6月15日）が異なっておりますので、以下2020年6月15日現在における「GCIマネープールマザーファンド」の補足情報を掲載しております。

■組入資産の明細

国内その他有価証券

（2020年6月15日現在）

銘	柄	当 期		末	
		評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
国 内 短 期 社 債 等		24,001,523			90.5

千円

%

（注）比率は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）評価額の単位未満は切り捨てています。

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド

運用報告書

第2期（決算日 2020年6月15日）

< 計算期間 2019年6月18日～2020年6月15日 >

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限（設定日：2018年9月20日）
運用方針	中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して積極的な運用を行います。
主要投資対象	日次の流動性をもち、かつ株式会社GCIアセット・マネジメントが運用に関するオルタナティブ戦略の投資信託証券
主な組入制限	同一銘柄の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の利用は行いません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		投資信託証券 組入比率	純資産額
		騰落	中率		
(設定日) 2018年9月20日	円 10,000		% —	% —	百万円 12
1期(2019年6月17日)	9,557	△4.4		98.5	883
2期(2020年6月15日)	9,154	△4.2		100.0	1,209

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

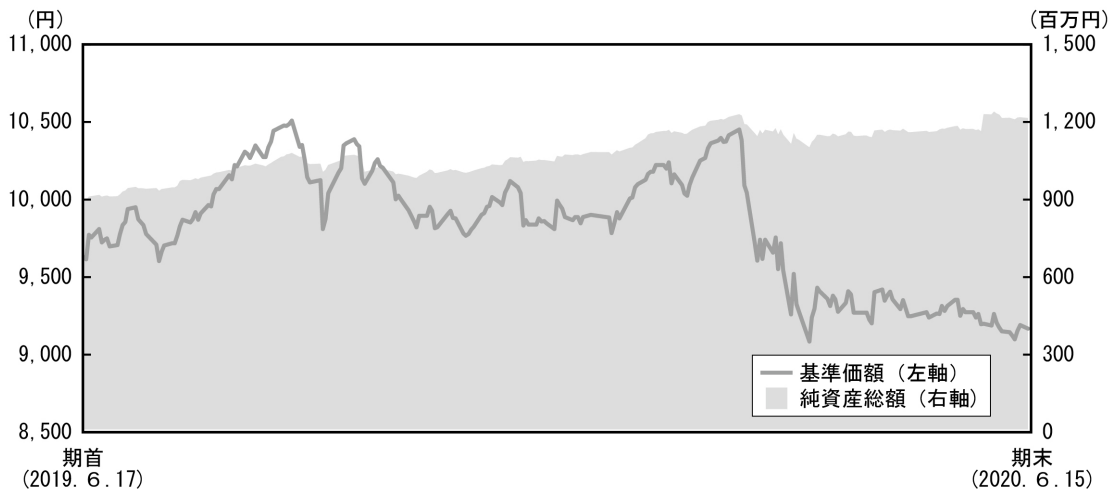
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準	価額		投資信託証券 組入比率
		騰落	率	
(期首) 2019年6月17日	円 9,557		% —	% 98.5
6月末	9,684		1.3	99.7
7月末	9,907		3.7	97.9
8月末	10,432		9.2	99.8
9月末	10,379		8.6	99.2
10月末	9,803		2.6	97.5
11月末	10,107		5.8	97.6
12月末	9,889		3.5	97.3
2020年1月末	10,151		6.2	99.3
2月末	10,034		5.0	98.4
3月末	9,299		△2.7	98.6
4月末	9,233		△3.4	99.1
5月末	9,184		△3.9	93.8
(期末) 2020年6月15日	9,154		△4.2	100.0

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

■ 当期中の基準価額等の推移



期 首 : 9,557円
 期 末 : 9,154円
 騰 落 率 : $\Delta 4.2\%$

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は下落し、当期間のリターンは $\Delta 4.2\%$ となりました。

主に、期を通して組入上位でありました「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」が下落したことがマイナスに影響しました。

■投資環境

【国内債券】

当期の国内債券市場は下落（金利は上昇）しました。8月には米中貿易摩擦を受けたリスクオフにより10年国債利回りは低下し、 $\Delta 0.3\%$ 近辺まで低下しました。その後は日銀の政策、世界各国の堅調な経済指標等を背景に金利は上昇基調が続きました。2020年3月頃には、新型コロナウイルスの感染拡大で国内債券も金利低下となりましたが、期末にかけては再び金利が上昇し、10年国債利回りは0%近辺での推移となりました。

【国内株式】

当期の国内株式市場はやや上昇となりました。8月には米中貿易摩擦の激化等を背景として下落となりましたが、その後は米中通商協議の進展等を受けて、日経平均株価は24,000円台に達する場面もありました。2020年2月後半から3月半ばにかけては新型コロナウイルスの世界的感染拡大とこれに伴う世界経済の減速懸念により、国内株式は急激な下落となりましたが、その後期末にかけては、各国による経済対策、感染拡大鈍化と経済再開への期待等を受けて回復基調が続きました。

【外国債券】

当期の外国債券市場は上昇（金利は低下）しました。8月には米中貿易摩擦の激化と世界経済の減速懸念等で各国の金利は低下しました。2020年に入ると新型コロナウイルスの世界的な感染拡大等を受けて金利低下が急激に進み、米国10年債の利回りは一時過去最低の0.3%台を記録する場面も見られました。しかし期末にかけては経済再開への期待が広がったこと等を受けてやや金利水準を戻しました。

【外国株式】

当期の外国株式市場はやや上昇となりました。8月には米中貿易摩擦の激化等を背景として下落となりましたが、その後は米中通商協議の進展、FRBの緩和姿勢、英国の総選挙結果等を受けて、上昇基調が続き、米国株式市場では主要3指数が史上最高値を更新しました。2020年2月後半から3月半ばにかけては新型コロナウイルスの世界的感染拡大とこれに伴う世界経済の減速懸念により、株式は短期間で世界的に急落となりましたが、3月後半以降は各国による経済対策、感染拡大鈍化と経済再開への期待等を背景に上昇基調が続き、期初の水準を超えて期末を迎えました。

【為替相場】

当期の為替相場は、円は対米ドルでやや上昇しました。8月には米中貿易摩擦激化を受けて円高が進行する場面がみられましたが、その後は堅調な米経済指標、米中通商協議の進展等を背景にゆるやかに円安基調となりました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大を受けたリスク回避の動きで2020年3月には一時1ドル101円台となるなど急激に円高が進む場面もありましたが、その後各国による金融緩和や財政刺激策への期待から円安方向に反転しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドでは、定性評価、定量評価等を勘案して当社が運用に関与するオルタナティブ戦略（投資信託証券）を複数選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行い、当期間においては投資対象とする投資信託証券のうち、「GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM」、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」の2ファンドに投資を行いました。

期末における各投資信託証券の組入比率は、「GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM」が89.9%、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」が10.1%となっております。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い、当社が運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券に投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

投資信託証券への投資にあたり、別に定める投資信託証券の中から、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行う方針です。なお、市況、各種評価等を勘案し、新たな投資対象ファンドを追加する場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	2019年6月18日～2020年6月15日		
	金額	比率	
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	0	0.000	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額（9,841円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

■売買及び取引の状況

投資信託受益証券、投資証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

		買		付		売		付	
		口	数	金	額	口	数	金	額
		口		千円		口		千円	
国内	GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF (適格機関投資家専用)	40,421,527		40,500		5,037,784		5,000	
	GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM	43,932 (0.14)		415,500 (-)		5,119		50,000	
合計	証券数・金額	40,465,459 (0.14)		456,000 (-)		5,042,903		55,000	

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2019年6月18日から2020年6月15日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業または商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年6月18日から2020年6月15日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンド

(2020年6月15日現在)

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	口	千円	%
GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF (適格機関投資家専用)	120,781,672	121,808	10.1
GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM	122,995	1,087,813	89.9
合計	120,904,667	1,209,622	

(注) 評価額は、単位未満を切り捨てています。

■投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	1,209,622	99.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,310	0.4
投 資 信 託 財 産 総 額	1,213,932	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,213,932,603円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,310,460
投資信託受益証券(評価額)	1,209,622,143
(B) 負 債	4,000,011
未 払 解 約 金	4,000,000
未 払 利 息	11
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,209,932,592
元 本	1,321,696,182
次 期 繰 越 損 益 金	△111,763,590
(D) 受 益 権 総 口 数	1,321,696,182口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,154円

(注) 当ファンドの期首元本額は924,778,818円、期中追加設定元本額は487,531,441円、期中一部解約元本額は90,614,077円です。

(注) 元本の内訳は以下の通りです。

・GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10(ラップ専用) 1,260,406,438円
 ・GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3(ラップ専用) 61,289,744円

(注) 1口当たり純資産額は0.9154円です。

■損益の状況

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△7,582円
支 払 利 息	△7,582
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△61,569,968
売 買 益	3,816,524
売 買 損	△65,386,492
(C) そ の 他 費 用 等	△273
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△61,577,823
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△40,968,403
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△11,031,441
(G) 解 約 差 損 益 金	1,814,077
(H) 計 (D+E+F+G)	△111,763,590
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△111,763,590

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■お知らせ

◇約款変更

該当事項はありません。

◇運用体制の変更

該当事項はありません。

[組入投資信託証券の内容]

GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	追加型株式投資信託
信託期間	無期限（設定日：2018年9月21日）
運用方針	中長期的な信託財産の成長と安定した収益の確保を目標に積極的な運用を行います。
主要投資対象	GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンド受益証券
運用方法	GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンドの受益証券への投資を通じて、独自に開発した短期アルゴリズム取引を組み合わせた短期トレーディングによるロング・ショート運用を行います。
分配方針	<p>年1回（2月20日、当該日が休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・収益分配金額は、上記の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。（ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。）

○損益の状況

(2019年2月21日～2020年2月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	1,036,398
売買益	1,046,117
売買損	△9,719
(B) 信託報酬等	△35,521
(C) 当期損益金(A+B)	1,000,877
(D) 前期繰越損益金	39,892
(E) 追加信託差損益金	△280,014
(配当等相当額)	(36,593)
(売買損益相当額)	(△316,607)
(F) 計(C+D+E)	760,755
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	760,755
追加信託差損益金	△280,014
(配当等相当額)	(35,928)
(売買損益相当額)	(△315,942)
分配準備積立金	1,376,800
繰越損益金	△336,031

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,330,522円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(35,928円)および分配準備積立金(46,278円)より分配対象収益は1,412,728円(10,000口当たり121円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○組入資産の明細

親投資信託残高

(2020年2月20日現在)

フ ァ ン ド 名	当 期 末	
	口 数	評 価 額
GCI株式ロング&ショートトレーディング マザーファンド	千口 111,289	千円 116,631

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンド全体の受益権口数は(4,213,147千口)です。

GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスM

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

ファンド形態	外国籍投資信託
主な投資対象	世界各国の株価指数先物・債券先物・金利先物、通貨先物、為替
運用の基本方針	システム運用により信託財産の長期的な成長を目指します。
委託会社 (運用会社)の名称	GCI Asset Management, HK Limited

○損益計算書 2019年6月1日～2020年5月31日

		(単位：USD)
Realised gain/loss	Commission & other charges	(48.39)
	Realised gain/loss fx forward	51,193.98
Unrealised gain/loss	FX gain/loss - balance sheet	(28,380.44)
	Unrealised p/l forward fx	(128,517.64)
	Unrealised p/l settled mutual funds	124,680.47
		(32,217.61)
Interest income	Interest income bank accounts	7,100.43
		7,100.43
Other expenses	Administration disbursements	(34.65)
	Administration fee expense	(346.46)
	Audit fee	(148.96)
	Bank charges	(262.47)
	CRS Services Expense	(44.70)
	FATCA Services fee expense	(57.74)
	Financial statement prep exp	(121.84)
	Legal fee	(604.81)
	License fee	(112.51)
	MLRO Fee Expense	(19.25)
	Other Professional Services Expense	(989.90)
	Regulatory Fee Expense	(126.53)
	Trustee Fees Expense	(279.72)
		(2,990.47)
Investment Expenses	Interest Expense	(311.92)
		(311.92)
Investment management fee expense	Incentive fee expense	(0.12)
	Management Fees Expense	0.00
		(0.12)
NET PROFIT/LOSS FOR THE PERIOD		15,625.47

○組入上位10銘柄

2020年5月29日

	銘柄	種類	通貨	国	組入比率 (%)
1	5-Yr US Treasury Note Futures Sep 20	債券先物	USD	米国	164.5
2	French 10-Year Bond Future Jun 20	債券先物	EUR	ドイツ	38.9
3	30-Yr US Treasury Bond Futures Sep 20	債券先物	USD	米国	21.1
4	E-mini NASDAQ-100 Futures Jun 20	株価指数先物	USD	米国	17.0
5	10-year JGB Futures Jun 20	債券先物	JPY	日本	13.3
6	FTSE 100 Index Futures Jun 20	株価指数先物	GBP	英国	9.1
7	Australian Dollar Futures Jun 20	通貨先物	USD	米国	7.2
8	Nikkei 225 Futures Jun 20	株価指数先物	JPY	日本	5.3
9	CAC-40 Index Futures Jun 20	株価指数先物	EUR	フランス	3.7
10	—	—	—	—	—
組 入 銘 柄 数					9 銘柄

(注) 銘柄は、GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスMが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地および債券は発行体の所在地です。

GCIマネープールマザーファンド

運用報告書

第3期（決算日 2019年9月25日）

< 計算期間 2018年9月26日～2019年9月25日 >

GCIマネープールマザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

■当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限（2017年3月15日設定）
運用方針	安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の短期公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		株 式 組 入 率 比	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比	純 資 産 総 額
		騰 落	中 率				
(設 定 日) 2017年3月15日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	% —	百万円 2,100
1 期 (2017年9月25日)	9,999	△0.0	—	—	—	—	2,789
2 期 (2018年9月25日)	9,995	△0.0	—	—	—	—	7,007
3 期 (2019年9月25日)	9,991	△0.0	—	—	—	—	21,393

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

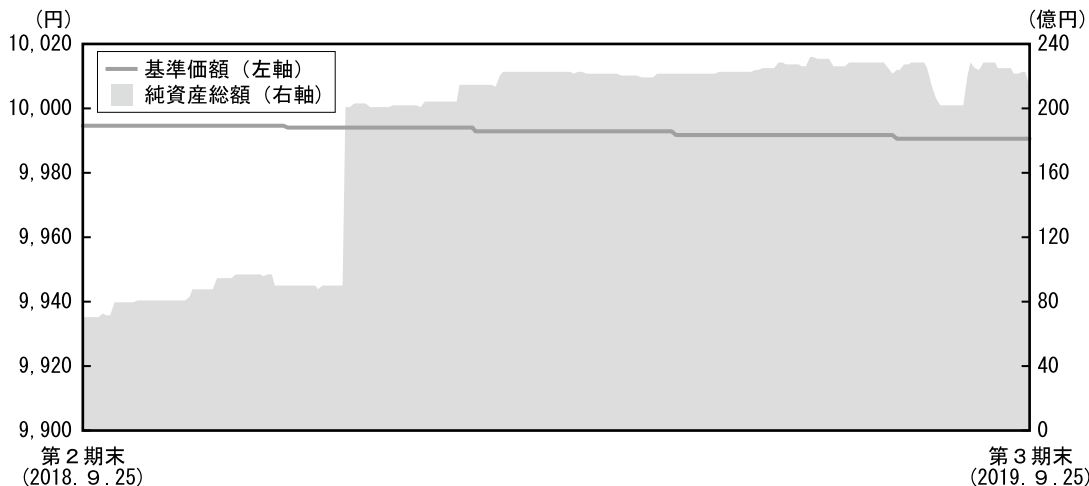
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	
		騰 落	率
(期 首) 2018年9月25日	円 9,995	% —	% —
9 月 末	9,995	0.0	0.0
10 月 末	9,995	0.0	0.0
11 月 末	9,995	0.0	0.0
12 月 末	9,994	△0.0	△0.0
2019年1 月 末	9,994	△0.0	△0.0
2 月 末	9,993	△0.0	△0.0
3 月 末	9,993	△0.0	△0.0
4 月 末	9,993	△0.0	△0.0
5 月 末	9,992	△0.0	△0.0
6 月 末	9,992	△0.0	△0.0
7 月 末	9,992	△0.0	△0.0
8 月 末	9,991	△0.0	△0.0
(期 末) 2019年9月25日	9,991	△0.0	△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

■当期中の基準価額等の推移



期 首 : 9,995円
 期 末 : 9,991円
 騰 落 率 : $\Delta 0.0\%$

■基準価額の主な変動要因

運用対象のCP現先取引等の利回りが期中よりマイナスに推移したため、基準価格は9,995円から9,991円に4円の値下がりとなりました。

■投資環境

・国内短期金融市場について

現在の日銀によるマイナス金利政策と大規模な国債購入を背景として、国庫短期証券3ヶ月利回り及び無担保コール翌日物金利のレートはマイナス水準に定着しており、当期末時点でのレートはそれぞれ-0.14%、-0.06%となっております。

また、当ファンドで主に運用しているCP現先取引のレートは、国庫短期証券3ヶ月利回り及びコールローンのレートに対して、比較的有利な水準で推移していきました。

■当該投資信託のポートフォリオ

短期金融商品の中で相対的にレートの良いCP現先取引を中心に運用を行ないました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■今後の運用方針

引き続きCP現先取引などを中心に投資を行い、信託財産の安定した収益の確保を目指して安定運用を行ないますが、市場環境によっては目標とする運用が出来ない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2018年9月26日～2019年9月25日		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	－円	－%	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数×10,000 期中の平均基準価額は9,993円です。 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	0	0.000	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

■売買及び取引の状況

その他有価証券

(2018年9月26日から2019年9月25日まで)

		買	付	売	付
		金	額	金	額
国内	国内短期社債等	千円		千円	
		3,995,414,276		3,982,207,872	

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2018年9月26日から2019年9月25日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

国内その他有価証券

(2019年9月25日現在)

銘	柄	当 期 末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
国内短期社債等		20,001,373	93.5

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

■投資信託財産の構成

(2019年9月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
そ の 他 有 価 証 券	20,001,373	89.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,267,297	10.2
投 資 信 託 財 産 総 額	22,268,670	100.0

(注) 比率は、当ファンドの投資信託財産総額に対する各資産の評価額の割合です。

(注) 評価額は、単位未満を切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	22,268,670,684円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,267,297,357
そ の 他 有 価 証 券	20,001,373,327
(B) 負 債	875,006,211
未 払 解 約 金	875,000,000
未 払 利 息	6,211
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	21,393,664,473
元 本	21,413,297,866
次 期 繰 越 損 益 金	△19,633,393
(D) 受 益 権 総 口 数	21,413,297,866口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C/D)	9,991円

(注) 当ファンドの期首元本額は7,011,159,551円、期中追加設定元本額は23,942,493,233円、期中一部解約元本額は9,540,354,918円です。

(注) 2019年9月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・ GCIマネープールファンド (適格機関投資家専用) 12,667,651,765円
- ・ GCIシステマティックマクロファンドV3 クラスA (適格機関投資家専用) 3,501,188,547円
- ・ GCI先進国国債インカムファンド クラスA (適格機関投資家専用) 2,462,089,794円
- ・ GCIシステマティックマクロファンドV5 クラスA (適格機関投資家専用) 2,067,018,977円
- ・ GCIコスト効率的為替ヘッジプログラム2018-08 (適格機関投資家専用) 474,691,379円
- ・ GCIエンダウメントファンド (安定型) 120,050,012円
- ・ GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用) 80,585,381円
- ・ GCIエンダウメントファンド (成長型) 40,022,011円

(注) 1口当たり純資産額は、0.9991円です。

■損益の状況

(2018年9月26日から2019年9月25日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△8,031,465円
受 取 利 息	△6,255,945
支 払 利 息	△1,775,520
(B) そ の 他 費 用 等	△44,791
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△8,076,256
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△3,275,289
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△15,694,602
(F) 解 約 差 損 益 金	7,412,754
(G) 合 計 (C+D+E+F)	△19,633,393
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△19,633,393

(注) (E) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	無期限（設定日：2018年9月20日）	
運用方針	中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して安定的な運用を行います。	
主投資対象	GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド受益証券およびGCIマネーブルマザーファンド受益証券
	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	日次の流動性をもち、かつ株式会社GCIアセット・マネジメントが運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券
	GCIマネーブルマザーファンド	わが国の短期公社債等
主な組入制限	GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。
	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	同一銘柄の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の利用は行いません。
	GCIマネーブルマザーファンド	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	年1回（6月15日、当該日が休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・収益分配金額は、上記の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。 （ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。）	

運用報告書（全体版）

GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）

第1期（決算日 2019年6月17日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）」は、このたび第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社GCIアセット・マネジメント

東京都千代田区西神田3-8-1
お問い合わせ先（クライアント・リレーションズ・グループ）
TEL：03-3556-5040（営業日の9:00~17:00）
URL：<https://www.gci.jp>

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分 配 落)	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配 金	騰 落 中 率		
(設 定 日) 2018年9月20日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 10
1 期 (2019年6月17日)	9,824	0	△1.8	29.9	78

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■当期中の基準価額等の推移

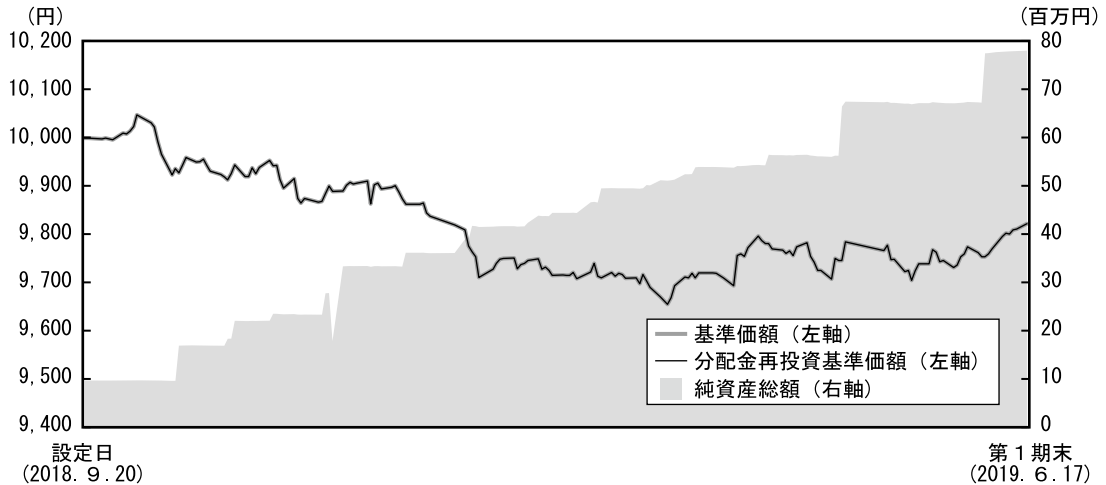
年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 券 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(設 定 日) 2018年9月20日	円 10,000		% —	% —
9 月 末	9,997		△0.0	30.0
10 月 末	9,914		△0.9	11.6
11 月 末	9,890		△1.1	28.6
12 月 末	9,839		△1.6	25.4
2019年1 月 末	9,727		△2.7	29.7
2 月 末	9,706		△2.9	29.5
3 月 末	9,774		△2.3	30.2
4 月 末	9,786		△2.1	29.8
5 月 末	9,776		△2.2	29.8
(期 末) 2019年6月17日	9,824		△1.8	29.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

■ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：9,824円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率： $\Delta 1.8\%$ （分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は下落し、当期間のリターンは $\Delta 1.8\%$ となりました。

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドにて組入れを行った投資信託証券のうち、主に、期を通して組入上位でありました「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」が下落したことがマイナスに影響しました。

■投資環境

【国内債券】

当期の国内債券市場は上昇（金利は低下）しました。期初には海外長期金利の上昇を受けて、国内金利は上昇しましたが、その後、2018年末から19年初にかけて国内外で株価が下落となったこと等から2019年初には国内10年国債利回りが再度マイナス圏に突入しました。その後も世界景気の減速懸念や米国金利の低下に伴いじりじりと金利は低下し、また、期の終盤においては米中貿易摩擦や米国の利下げ観測を受け、国内債券は上昇（金利は低下）、国内10年国債利回りはさらにマイナス圏を深堀りする格好となりました。

【国内株式】

当期の国内株式市場は下落しました。2018年10月初に日経平均株価が27年ぶりの高値を更新する場面もありましたが、その後は、米国ハイテク株の急落や米国景気の減速懸念等を受け株価は下落しました。1月以降は、FRB（米連邦準備理事会）の利上げに慎重な姿勢への転換、米中通商協議の進展期待等を背景に株価は回復していきましたが、5月に入り一転米中貿易摩擦が激化、為替が円高方向へ進んだことも重しとなり、再び株価は下落となりました。

【外国債券】

当期の外国債券市場は上昇（金利は低下）しました。期初には良好な米国経済指標やFRB高官のタカ派姿勢を背景に金利は上昇しましたが、世界的な株価急落を受け金利は低下に転じました。その後も、主要中央銀行の慎重な姿勢、世界的な景気後退への懸念、2019年5月以降の米中貿易摩擦の激化等、金利低下圧力が続きました。

【外国株式】

当期の外国株式市場はほぼ横ばいとなりました。10月に入り米国ハイテク株の急落をきっかけに下落となり、その後も、米国の政府機関閉鎖や英国のEU離脱交渉の混迷、米中関係の悪化懸念等の悪材料が多く調整局面が継続し、年末にかけて一段と下落しました。しかし、2019年に入ってから、主要中央銀行の慎重な姿勢、米中貿易協議の進展、好調な企業決算等を背景に上昇が続きまし

た。5月には米中貿易摩擦の激化、欧米の経済指標の悪化、米国による対メキシコへの追加関税表明などから下落となりましたが、期末にかけては主要国中央銀行の経済下振れリスクへの対応、米国の対メキシコへの追加関税の回避等を材料に反発し、期初に近い水準で期末を迎えました。

【為替相場】

当期の為替相場は、円は対米ドルで上昇しました。2018年12月半ばから2019年初にかけては世界経済の減速懸念や株安を受けて円高が進みましたが、その後は米中通商協議の進展期待や良好な海外経済指標等を背景に円安傾向となりました。しかし、5月に入り一転米中貿易摩擦が激化し、加えて米国によるメキシコへの追加関税が表明される等を受けて再び円高が進みました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドでは、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主に当社が運用に関与するオルタナティブ戦略（指定投資信託証券）に投資を行いました。また、GCIマネープールマザーファンドの組入れも行いました。

各マザーファンドへの投資については、当期を通じて当ファンド全体の組入比率を高位に保ちました。期末における各マザーファンドの組入比率は、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドが30.3%、GCIマネープールマザーファンドが69.5%となっています。

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドにおいては、定性評価、定量評価等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行い、当期間においては投資対象とする投資信託証券のうち、「GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM」、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF（適格機関投資家専用）」の2ファンドに投資を行いました。なお、「GCIリラティブバリューファンド クラスE1」は、ファンドが償還されるはこびとなりましたため、本年3月末に投資対象ファンドより除外といたしました。当ファンド設定以来組入れの実績はなく、当ファンドの運用において実質的な影響はございません。

期末におけるマザーファンド内での、各投資信託証券の組入比率は、「GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM」が88.8%、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF（適格機関投資家専用）」が9.6%となっております。

GCIマネープールマザーファンドにおいては、短期金融商品の中で相対的にレートの良いCP現先取引を中心に運用を行ないました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配は行いませんでした。

なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目	第1期	
	2018年9月20日～2019年6月17日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

【GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3（ラップ専用）】

引き続き、運用の基本方針に従い、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、当社が運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券に投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。また、GCIマネープールマザーファンドの組入も行います。

【GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド】

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの運用については、投資信託証券への投資にあたり、別に定める投資信託証券の中から、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行う方針です。なお、市況、各種評価等を勘案し、新たな投資対象ファンドを追加する場合があります。

【GCIマネープールマザーファンド】

GCIマネープールマザーファンドの運用については、引き続きCP現先取引などを中心に投資を行い、信託財産の安定した収益の確保を目指して安定運用を行いますが、市場環境によっては目標とする運用が出来ない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	2018年9月20日～2019年6月17日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (基本報酬)	38円	0.381%	(a) 信託報酬の総額＝基本報酬＋成功報酬 基本報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 当期中の平均基準価額は9,823円です。 委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価 交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 ファンドの運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価
(投信会社)	(32)	(0.321)	
(販売会社)	(1)	(0.008)	
(受託会社)	(2)	(0.024)	
(成功報酬)	(3)	(0.028)	
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	38	0.381	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

■ 売買及び取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2018年9月20日から2019年6月17日まで)

ファンド名	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	27,812	26,540	3,028	2,950
GCIマネープールマザーファンド	61,286	61,250	6,953	6,950

(注) 単位未満は切り捨てています。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年9月20日から2019年6月17日まで)

該当事項はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業または商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年9月20日から2019年6月17日まで)

該当事項はございません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年9月20日から2019年6月17日まで)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 —	百万円 10	百万円 10	百万円 0	当初設定時における取得等

(注) 当期は第1期であるため、期首残高(元本)は該当ありません。

■ 組入資産の明細

親投資信託残高

(2019年6月17日現在)

ファンド名	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	24,783	23,685
GCIマネープールマザーファンド	54,332	54,289

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は、924,778千口です。

(注) GCIマネープールマザーファンドの期末の受益権総口数は、22,618,409千口です。

■投資信託財産の構成

(2019年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	23,685	30.3
GCIマネープールマザーファンド	54,289	69.5
コール・ローン等、その他	180	0.2
投資信託財産総額	78,154	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月17日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	78,154,200円
コール・ローン等	179,283
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド(評価額)	23,685,419
GCIマネープールマザーファンド(評価額)	54,289,498
(B) 負 債	74,803
未払信託報酬	74,803
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	78,079,397
元 本	79,475,476
次期繰越損益金	△1,396,079
(D) 受 益 権 総 口 数	79,475,476口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,824円

(注) 当ファンドの期首元本額は10,000,000円、期中追加設定元本額は79,475,476円、期中一部解約元本額は10,000,000円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9824円です。

■損益の状況

当期(2018年9月20日から2019年6月17日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	△10円
支 払 利 息	△10
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	136,404
売 買 益	167,813
売 買 損	△31,409
(C) 信 託 報 酬 等	△162,081
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△25,687
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,370,392
(配 当 等 相 当 額)	(△2)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,370,390)
(F) 計 (D+E)	△1,396,079
(G) 收 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	△1,396,079
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,370,392
(配 当 等 相 当 額)	(△1,622)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,368,770)
繰 越 損 益 金	△25,687

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)収益分配金の額の計算過程については、以下の表をご参照ください。

項目	当期
計算期間末における配当等収益から費用を控除した額	0円
有価証券売買等損益から費用を控除した額	0円
信託約款に規定される収益調整金	0円
信託約款に規定される分配準備積立金	0円
分配対象収益 (1万口当たり)	0円
分配金額 (1万口当たり)	0円

■分配金のお知らせ

	第	1	期
1 万口 当 たり 分 配 金 （ 税 引 前 ）			0円

※分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

■お知らせ

◇約款変更

- ・当ファンドの親投資信託であるGCIオルタナティブバスケット・マザーファンドにおいて、約款付表に「別に定める投資信託証券」として規定された「GCIリラティブバリューファンド クラスE1」を投資対象から除外するため、所要の変更を行いました。（変更日：2019年3月29日）

<補足情報>

「GCIマネープールマザーファンド」の決算日（2018年9月25日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、以下2019年6月17日現在における「GCIマネープールマザーファンド」の補足情報を掲載しております。

■組入資産の明細

国内その他有価証券

(2019年6月17日現在)

銘	柄	当 期		末	
		評 価 額	比	評 価 額	率
国内短期社債等		20,201,942			89.4
		千円			%

(注) 比率は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2019年6月17日）

＜計算期間 2018年9月20日～2019年6月17日＞

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限（設定日：2018年9月20日）
運用方針	中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して積極的な運用を行います。
主要投資対象	日次の流動性をもち、かつ株式会社GCIアセット・マネジメントが運用に関するオルタナティブ戦略の投資信託証券
主な組入制限	同一銘柄の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の利用は行いません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期騰	中率		
(設定日) 2018年9月20日	円 10,000		% -	% -	百万円 12
1期(2019年6月17日)	9,557		△4.4	98.5	883

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

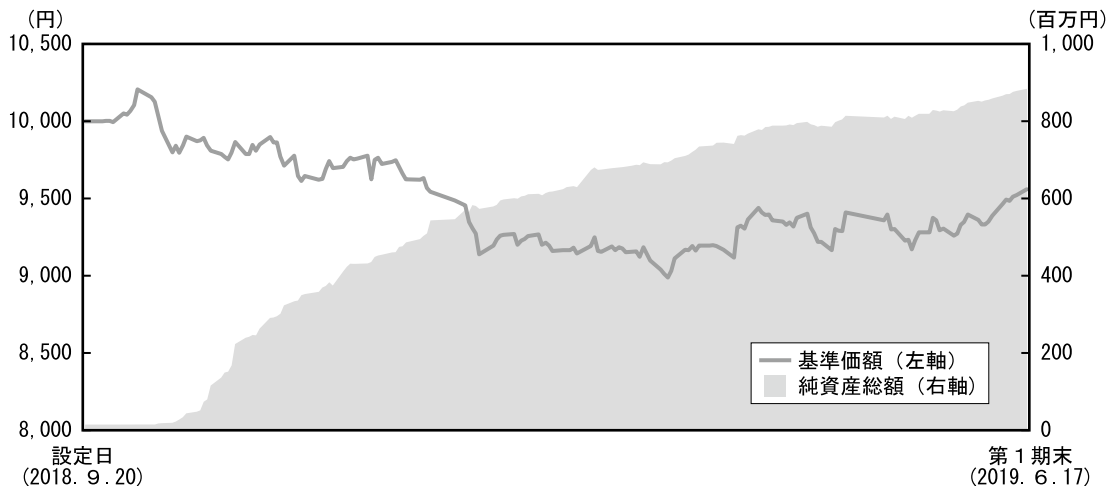
■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託証券組入比率
		騰	落率	
(設定日) 2018年9月20日	円 10,000		% -	% -
9月末	9,993		△0.1	99.9
10月末	9,751		△2.5	38.9
11月末	9,695		△3.1	94.5
12月末	9,542		△4.6	85.3
2019年1月末	9,192		△8.1	99.2
2月末	9,138		△8.6	98.7
3月末	9,362		△6.4	98.7
4月末	9,409		△5.9	98.4
5月末	9,394		△6.1	98.5
(期末) 2019年6月17日	9,557		△4.4	98.5

(注) 騰落率は設定日比です。

運用経過

■ 基準価額等の推移



設定日 : 10,000円
 第1期末 : 9,557円
 騰落率 : $\Delta 4.4\%$

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は下落し、当期間のリターンは $\Delta 4.4\%$ となりました。

主に、期を通して組入上位でありました「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」が下落したことがマイナスに影響しました。

■投資環境

【国内債券】

当期の国内債券市場は上昇（金利は低下）しました。期初には海外長期金利の上昇を受けて、国内金利は上昇しましたが、その後、2018年末から19年初にかけて国内外で株価が下落となったこと等から2019年初には国内10年国債利回りが再度マイナス圏に突入しました。その後も世界景気の減速懸念や米国金利の低下に伴いじりじりと金利は低下し、また、期の終盤においては米中貿易摩擦や米国の利下げ観測を受け、国内債券は上昇（金利は低下）、国内10年国債利回りはさらにマイナス圏を深掘りする格好となりました。

【国内株式】

当期の国内株式市場は下落しました。2018年10月初に日経平均株価が27年ぶりの高値を更新する場面もありましたが、その後は、米国ハイテク株の急落や米国景気の減速懸念等を受け株価は下落しました。1月以降は、FRB（米連邦準備理事会）の利上げに慎重な姿勢への転換、米中通商協議の進展期待等を背景に株価は回復していきましたが、5月に入り一転米中貿易摩擦が激化、為替が円高方向へ進んだことも重しとなり、再び株価は下落となりました。

【外国債券】

当期の外国債券市場は上昇（金利は低下）しました。期初には良好な米国経済指標やFRB高官のタカ派姿勢を背景に金利は上昇しましたが、世界的な株価急落を受け金利は低下に転じました。その後も、主要中央銀行の慎重な姿勢、世界的な景気後退への懸念、2019年5月以降の米中貿易摩擦の激化等、金利低下圧力が続きました。

【外国株式】

当期の外国株式市場はほぼ横ばいとなりました。10月に入り米国ハイテク株の急落をきっかけに下落となり、その後も、米国の政府機関閉鎖や英国のEU離脱交渉の混迷、米中関係の悪化懸念等の悪材料が多く調整局面が継続し、年末にかけて一段と下落しました。しかし、2019年に入ってから、主要中央銀行の慎重な姿勢、米中貿易協議の進展、好調な企業決算等を背景に上昇が続きました。

5月には米中貿易摩擦の激化、欧米の経済指標の悪化、米国による対メキシコへの追加関税表明などから下落となりましたが、期末にかけては主要国中央銀行の経済下振れリスクへの対応、米国の対メキシコへの追加関税の回避等を材料に反発し、期初に近い水準で期末を迎えました。

【為替相場】

当期の為替相場は、円は対米ドルで上昇しました。2018年12月半ばから2019年初にかけては世界経済の減速懸念や株安を受けて円高が進みましたが、その後は米中通商協議の進展期待や良好な海外経済指標等を背景に円安傾向となりました。しかし、5月に入り一転米中貿易摩擦が激化し、加えて米国によるメキシコへの追加関税が表明される等を受けて再び円高が進みました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドでは、定性評価、定量評価等を勘案して当社が運用に関与するオルタナティブ戦略（投資信託証券）を複数選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行い、当期間においては投資対象とする投資信託証券のうち、「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF（適格機関投資家専用）」の2ファンドに投資を行いました。なお、「GCIリラティブバリューファンド クラスE1」は、ファンドが償還されるはこびとなりましたため、本年3月末に投資対象ファンドより除外といたしました。当ファンド設定以来組入れの実績はなく、当ファンドの運用において実質的な影響はございません。

期末における各投資信託証券の組入比率は、「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」が88.8%、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF（適格機関投資家専用）」が9.6%となっております。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い、当社が運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券に投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

投資信託証券への投資にあたり、別に定める投資信託証券の中から、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行う方針です。なお、市況、各種評価等を勘案し、新たな投資対象ファンドを追加する場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	2018年9月20日～2019年6月17日		
	金額	比率	
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	0	0.000	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額（9,497円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

■売買及び取引の状況

投資信託受益証券、投資証券

(2018年9月20日から2019年6月17日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		口	千円	口	千円
国内	GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF (適格機関投資家専用)	85,397,929	85,100	—	—
	GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM	84,181 (0.25)	786,100 (—)	—	—
合計	証券数・金額	85,482,110 (0.25)	871,200 (—)	—	—

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2018年9月20日から2019年6月17日まで)

該当事項はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業または商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年9月20日から2019年6月17日まで)

該当事項はございません。

■組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンド

(2019年6月17日現在)

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	口	千円	%
GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF (適格機関投資家専用)	85,397,929	85,235	9.6
GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM	84,182	784,956	88.8
合 計	85,482,111	870,192	

(注) 評価額は、単位未満を切り捨てています。

■投資信託財産の構成

(2019年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	870,192	98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	13,618	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	883,810	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月17日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	883,810,425円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,618,314
投資信託受益証券(評価額)	870,192,111
前 払 金	10,000,000
(B) 負 債	10
未 払 利 息	10
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	883,810,415
元 本	924,778,818
次 期 繰 越 損 益 金	△40,968,403
(D) 受 益 権 総 口 数	924,778,818口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	9.557円

(注) 当マザーファンドの期首元本額は12,980,000円、期中追加設定元本額は926,171,166円、期中一部解約元本額は14,372,348円です。

(注) 元本の内訳は以下の通りです。

- ・GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10(ラップ専用) 899,995,497円
- ・GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3(ラップ専用) 24,783,321円

(注) 1口当たり純資産額は0.9557円です。

■損益の状況

(2018年9月20日から2019年6月17日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△6,369円
支 払 利 息	△6,369
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△1,007,889
売 買 益	135,672
売 買 損	△1,143,561
(C) そ の 他 費 用 等	△327
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△1,014,585
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△40,376,166
(F) 解 約 差 損 益 金	422,348
(G) 計 (D+E+F)	△40,968,403
次 期 繰 越 損 益 金(G)	△40,968,403

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■お知らせ

◇約款変更

- ・当ファンドの約款付表に「別に定める投資信託証券」として規定された「GCIリラティブバリューファンド クラスE1」を投資対象から除外するため、所要の変更を行いました。(変更日：2019年3月29日)

[組入投資信託証券の内容]

GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	追加型株式投資信託
信託期間	無期限（設定日：2018年9月21日）
運用方針	中長期的な信託財産の成長と安定した収益の確保を目標に積極的な運用を行います。
主要投資対象	GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンド受益証券
運用方法	GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンドの受益証券への投資を通じて、独自に開発した短期アルゴリズム取引を組み合わせた短期トレーディングによるロング・ショート運用を行います。
分配方針	<p>年1回（2月20日、当該日が休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・収益分配金額は、上記の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。（ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。）

○損益の状況

(2018年9月21日～2019年2月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△20円
支払利息	△20
(B) 有価証券売買損益	45,153
売買益	45,153
(C) 信託報酬等	△5,241
(D) 当期損益金 (A+B+C)	39,892
(E) 追加信託差損益金	△247,414
(配当等相当額)	(△30)
(売買損益相当額)	(△247,384)
(F) 計 (D+E)	△207,522
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (F+G)	△207,522
追加信託差損益金	△247,414
(配当等相当額)	(△1,692)
(売買損益相当額)	(△245,722)
分配準備積立金	46,278
繰越損益金	△6,386

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (46,278円) より分配対象収益は46,278円 (10,000口当たり7円) ですが、当期に分配した金額はありません。

○組入資産の明細

親投資信託残高

(2019年2月20日現在)

フ ァ ン ド 名	当 期 末	
	口 数	評 価 額
GCI株式ロング&ショートトレーディング マザーファンド	千口 59,910	千円 62,145

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンド全体の受益権口数は (4,739,358千口) です。

GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスM

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

ファンド形態	外国籍投資信託
主な投資対象	世界各国の株価指数先物・債券先物・金利先物、通貨先物、為替
運用の基本方針	システム運用により信託財産の長期的な成長を目指します。
委託会社 (運用会社)の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

○損益計算書 2018年9月26日～2019年5月31日

		(単位 : USD)
Realised gain/loss	Commission & other charges	(206.58)
	Realised gain/loss bonds	9,452.51
	Realised gain/loss futures	3,672.78
	Realised gain/loss fx forward	(2,884.47)
	Realised gain/loss fx spot	12,705.27
	Realised gain/loss mutual funds	(24,467.93)
	Total for Realised gain/loss	(1,728.42)
Unrealised gain/loss	FX gain/loss - balance sheet	48,724.04
	Unrealised p/l forward fx	35,978.40
	Unrealised p/l settled bonds	2,607.08
	Unrealised p/l settled mutual funds	(125,207.28)
	Unrealised p/l spot fx	(203.44)
	Unrealised p/l unsettled futures	50,551.96
	Total for Unrealised gain/loss	12,450.76
Interest income	Interest income bank accounts	7,100.43
Other expenses	Administration disbursements	(79.90)
	Administration fee expense	(799.04)
	Audit fee	(516.42)
	Bank charges	(547.15)
	CRS Services Expense	(99.25)
	FATCA Services fee expense	(199.76)
	Financial statement prep exp	(399.70)
	Legal fee	(206.43)
	License fee	(403.17)
	MLRO Fee Expense	(66.59)
	Regulatory Fee Expense	(432.31)
	TA transaction fee	(53.69)
	Trustee Fees Expense	(279.72)
	Total for Other expenses	(4,083.13)
Investment Expenses	Interest Expense	(15.09)
NET PROFIT/LOSS FOR THE PERIOD		13,724.55

○組入上位10銘柄

2019年5月31日

	銘柄	種類	通貨	国	組入比率 (%)
1	10-year JGB Futures Jun19	債券先物	JPY	日本	479.1
2	Euro-Bund Futures Jun19	債券先物	EUR	ドイツ	88.6
3	Japanese Yen Futures Jun19	通貨先物	USD	米国	77.8
4	10-Yr US Treasury Note Futures Sep 19	債券先物	USD	米国	65.7
5	S&P Canada 60 Index Futures Jun19	株価指数先物	CAD	カナダ	52.2
6	Treasury Bill 01/10/19	外国債券	USD	米国	28.6
7	Treasury Bill 07/05/19	外国債券	USD	米国	20.2
8	French 10-Year Bond Future Jun19	債券先物	EUR	ドイツ	19.9
9	Euro FX Futures Jun19	通貨先物	USD	米国	17.2
10	STOXX® Europe 600 Index Futures Jun19	株価指数先物	EUR	ドイツ	12.5
組 入 銘 柄 数					13銘柄

(注) 銘柄は、GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスMが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地および債券は発行体の所在地です。

GCIマネープールマザーファンド

運用報告書

第2期（決算日 2018年9月25日）

< 計算期間 2017年9月26日～2018年9月25日 >

GCIマネープールマザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

■当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限（設定日：2017年3月15日）
運用方針	安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の短期公社債等。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	株 式 先 物 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率				
(設 定 日) 2017年 3月15日	円		%	%	%	%	百万円 2,100
1 期 (2017年 9月25日)	9,999		△0.0	—	—	—	2,789
2 期 (2018年 9月25日)	9,995		△0.0	—	—	—	7,007

(注) 設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

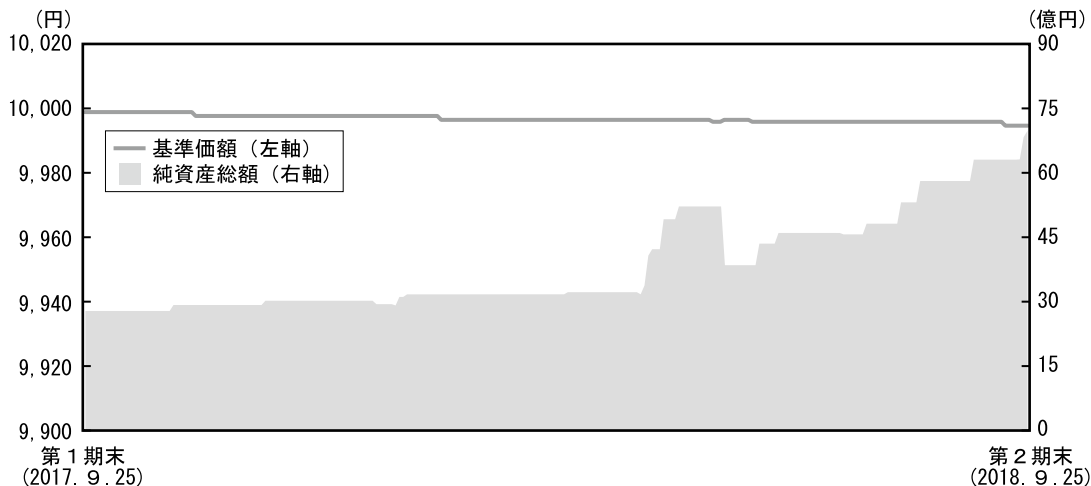
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2017年 9月25日	円		%
	9,999		—
9 月末	9,999		0.0
10 月末	9,999		0.0
11 月末	9,998		△0.0
12 月末	9,998		△0.0
2018年 1 月末	9,998		△0.0
2 月末	9,997		△0.0
3 月末	9,997		△0.0
4 月末	9,997		△0.0
5 月末	9,996		△0.0
6 月末	9,996		△0.0
7 月末	9,996		△0.0
8 月末	9,996		△0.0
(期 末) 2018年 9月25日	9,995		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

■ 基準価額等の推移



第2期首：9,999円
 第2期末：9,995円
 騰落率：△0.0%

■ 基準価額の主な変動要因

運用対象のCP現先取引等の利回りが期中よりマイナスに推移したため、基準価額は9,999円から9,995円に4円の値下がりとなりました。

■投資環境

・国内短期金融市場について

現在の日銀によるマイナス金利政策と大規模な国債購入を背景として、国庫短期証券3ヶ月利回り及び無担保コール翌日物金利のレートはマイナス水準に定着しており、当期末時点でのレートはそれぞれ-0.13%、-0.06%となっております。

また当ファンドで主に運用しているCP現先取引のレートは、国庫短期証券3ヶ月利回り及びコールローンのレートに対して、比較的有利な水準で推移していきました。

■当該投資信託のポートフォリオ

短期金融商品の中で相対的にレートの良いCP現先取引を中心に運用を行ないました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■今後の運用方針

引き続きCP現先取引などを中心に投資を行い、信託財産の安定した収益の確保を目指して安定運用を行ないますが、市場環境によっては目標とする運用が出来ない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	2017年9月26日～2018年9月25日		
	金額	比率	
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数×10,000 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	0	0.000	

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額（9,997円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

■売買及び取引の状況

その他有価証券

(2017年9月26日から2018年9月25日まで)

		買	付	売	付
		金	額	金	額
国内	国内短期社債等	千円		千円	
		934,774,244		930,671,754	

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2017年9月26日から2018年9月25日まで)

該当事項はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

国内その他有価証券

(2018年9月25日現在)

銘	柄	当 期 末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
国内	国内短期社債等	6,801,225	97.1

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

■投資信託財産の構成

(2018年9月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
そ の 他 有 価 証 券	6,801,225	97.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	206,659	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	7,007,884	100.0

(注) 比率は、当ファンドの投資信託財産総額に対する各資産の評価額の割合です。

(注) 評価額は、単位未満を切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	7,007,884,262円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	206,658,883
現先取引(その他有価証券)	6,801,225,379
(B) 負 債	0
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	7,007,884,262
元 本	7,011,159,551
次 期 繰 越 損 益 金	△3,275,289
(D) 受 益 権 総 口 数	7,011,159,551口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	9,995円

(注) 当ファンドの期首元本額は2,789,721,113円、期中追加設定元本額は5,791,823,695円、期中一部解約元本額は1,570,385,257円です。

(注) 2018年9月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・ GCIコスト効率的為替ヘッジプログラム2018-08 (適格機関投資家専用) 499,699,880円
- ・ GCIマネープールファンド (適格機関投資家専用) 10,989,273円
- ・ GCIエンダウメントファンド (安定型) 141,881,900円
- ・ GCIオルタナティブバスケット・ファンドV3 (ラップ専用) 6,993,497円
- ・ GCIシステムティックマクロファンドV3 クラスA (適格機関投資家専用) 3,677,458,508円
- ・ GCIシステムティックマクロファンドV5 クラスA (適格機関投資家専用) 2,674,136,493円

(注) 1口当たり純資産額は、0.9995円です。

■損益の状況

(2017年9月26日から2018年9月25日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△1,521,954円
支 払 利 息	△1,521,954
(B) そ の 他 費 用 等	△1,453
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△1,523,407
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△293,758
(E) 解 約 差 損 益 金	601,164
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△2,059,288
(G) 合 計 (C+D+E+F)	△3,275,289
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△3,275,289

(注) (E) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注) (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■お知らせ

電子公告のアドレスを変更するため、所要の変更を行いました。(変更日：2018年9月20日)